

第1問題

ア	積極的 (1点)	イ	自主的 (1点)	ウ	主体的 (1点)
エ	マナー (1点)	オ	伝統的 (1点)	カ	讃え (1点)
キ	援助 (1点)	ク	責任 (1点)	ケ	貢献 (1点)
コ	確保 (1点)				

第2問題

問1	「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接ねらうものではないため。 (3点)
問2	①ねらいは何か、②いつ、どこで運動するのか、③どのような運動を選ぶのか、④どの程度の運動強度、時間、回数で行うかなどに着目して運動を組み合わせ、計画を立てて取り組めるようにすること。 (3点)

第3問題

二人組などでお互いの動きを観察する他者観察 (3点)
ICTを活用して自己のフォームを観察する自己観察（運動をした後に自分の動きを振り返って動いた感じを感じ取る自己観察） (3点)

第4問題

問1	(1)	陸上、あるいは腰ぐらいの水の中で、立った状態で、前かがみになり、左右の手を入れ替えるタイミングに注意してストロークの動きを行う。慣れてきたら、水の中の場合は呼吸動作も入れる。 (3点)				
	(2)	陸上の床に腰を下ろしてキックを行い、足首の返しを自分の目で確認して行う。 (3点)				
問2	ア	トレーニングウェア (1点)	イ	清潔 (1点)	ウ	自由 (1点)
	エ	平泳ぎ (1点)	オ	クロール (1点)	カ	時間 (1点)
	キ	技能 (1点)				

第5問題

問1	(1)	助走距離を長くしないで、2～3歩踏み出して、踏切板を両足で踏み切り、踏切板の前に置いたマットに着地する。 (1点)
	(2)	腕立て伏臥姿勢でジャンプする。(両手両足を同時に地面から離し、同時に着地する。)(1点)
	(3)	肋木などからセーフティマット上に自由に、かつ安全に跳び下りる経験を積ませる。その後、跳び箱からいろいろなポーズで、または、ねらった所へ、あるいは遠くに、安全に柔らかく両足着地できるようにする。 (1点)
問2	(1)	両足で踏み切って腰を引き上げ、しっかり手で支えて頭(後頭部)を着く。 (3点)
	(2)	踏み切りや腰の引き上げが不十分な場合、跳び箱を少し低くして、踏み切り後にしっかりと腰を引き上げてスムーズに前転できるようにする。(補助者をつけてもよい。)(3点)

第6問題

問1	(1)	H (1点)	(2)	B (1点)	(3)	F (1点)	(4)	D (1点)
	(5)	A (1点)	(6)	I (1点)	(7)	J (1点)		
問2	ア	習得した知識 (1点)		イ	解決方法 (1点)		ウ	提示の仕方 (1点)

第7問題

問 1	互いに相手の動きに応じて攻防し合う対人的な競技であり、剣道の技能は対戦する相手との関連によって成立する。 (3点)					
	相手との関連の仕方は「竹刀」を用いて相対するので、これによって技能が規定される。 (3点)					
問 2	(1)	歩み足 (1点)	(2)	鍔ぜり合い (1点)	(3)	面抜き面 (1点)
	(4)	送り足 (1点)	(5)	体当たり (1点)		

第8問題

問 1	主役と脇役の動き (3 点)					
	一斉の同じ動き (ユニゾン) やばらばらの異なる動き (3 点)					
問 2	ア	よさこい鳴子踊り (1 点)	イ	越中おわら節 (1 点)	ウ	こまづくり唄 (1 点)
	エ	大漁唄い込み (1 点)				

第9問題

問1	スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結びつける文化的な働きがあること。 (3点)
問2	それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方 (3点)

第10問題

問 1	ア	個人生活 (1点)	イ	技能 (1点)	ウ	自他の課題 (1点)
	エ	他者に伝える力 (1点)	オ	保持増進 (1点)		
問 2	観察の視点を明確にすること。					(3点)
	ワークシートの項立てを工夫すること。					(3点)

第11問題

ア	密集 (1点)	イ	集団 (1点)	ウ	マスク (1点)
エ	呼気 (1点)	オ	発声 (1点)	カ	回数 (1点)
キ	手洗い (1点)	ク	熱中症 (1点)		